

クモ調査会 2021年9月26日(日)



例年一般の参加者を募集して『クモ観察会』を実施していますが、今年は新型コロナ感染拡大防止のため、会員による調査のみ行いました。

講師
日本蜘蛛学会会員
加藤 輝代子氏

(ジュンサイを残そう市民の会会員)



確認されたクモ 9月26日

1. ニホンヒメグモ
2. ネコハグモ
3. ジョロウグモ
4. コガネグモ
5. オオシロカネグモ
6. ハツリグモ
7. カグヤヒメグモ
8. コクサグモ
9. ワキグロサツマノミダマシ
10. ナガコガネグモ
11. オオヒメグモ
12. ヨダンハエトリ

調査場所：
管理地外側の園路～自然環境ゾーンの斜面林淵の園路

ニホンヒメグモのシート

園路の垣根にいました。
ヒメグモのうち、この種のみが
下にシート状の網を張ります。
ここに落ちた虫をシートごと切
り取って巻き取ってしまいます。



シート状の網

ネコハグモ

天幕状のボロ網を張り
その下に隠れています。



天幕から出てきたクモ



クモ調査会 2021年9月26日(日)



例年一般の参加者を募集して『クモ観察会』を実施していますが、今年は新型コロナ感染拡大防止のため、会員による調査のみ行いました。

クモ網観察 お役立ちグッズ



網がよく見えないときは・・・
網に、霧吹きで水を噴きかけて
ペンライトで照らしてみてください。
網の形がくっきり見えます。

ジョロウグモの網

ジョロウグモの網は、とても目が細かいのが特徴です。
小さな虫も漕しとることができるため、
昆虫の少ない市街地でもたくさん生き残っています。
ジョロウグモは6月から12月にかけて成長し、網もどんどん大きくします。

ジョロウグモの網を見るポイント

- ① 三層構造の大きな馬蹄形円網を張ります。
- ② 足場系を回収せず、網として残すことから、目が非常に細かい網になっています。
- ③ 編み物の増し目のように、縦糸を分割して増やしています。
- ④ 古い網は半分ずつ張り替えていきます。(大きい網だと1/4くらいずつ)

きれいに張られている部分は、五線譜のように見えますね♪

地面のそばのハツリグモ

地面から拳1個分ほどの
高さに、葉が浮かんでい
るように見えたら、ハツ
リグモかもしれません。
枯葉の中に隠れています。

冬は地面に落ちた枯葉の
中でじっと春を待つそう
です。

